

平成28年度学生と学長との懇談会
本学に対する学部学生からの意見・質問への回答

3 その他	回答
<p>1 総合科学部</p> <p>大学祭や五月祭の運営について、特定の団体に任せている状態だが、会計面がどうなっているか不明な点があり、確認をお願いしたい。</p>	<p>大学祭や五月祭の運営については、開催前に連絡会、開催後に反省会を教育担当副学長、各学部医学生委員、学務部職員出席のもと開催している。連絡会においては、予算案を提出してもらい、繰越金残額と運営予算を確認している。また、反省会では決算報告書を提出してもらい、運営費を確認している。</p> <p>支出について、証拠書類となるレシート等は保管され、決算書類と承合されている。また、額が大きい支出（機材費、舞台費など）のほとんどが、見積もり書・請求書は大学窓口に一旦届くため、決算書類と相違ないか大学側で確認できている。</p> <p>ただ、出店者等への説明が不十分であることから、出店の際の徴収料金についての説明方法を検討するよう大学側から伝える。</p>

平成28年度学生と学長との懇談会
 本学に対する学部学生からの意見・質問への回答

3 その他	回答
<p>2 総合科学部</p> <p>けやきホールや地域創生・国際交流会館など素敵な建物が近年多く完成している。せっかく箱物があるのに、利用が少ないことが気になる。けやきホールは申し込めば学生も借りることができるという話だが、周知されていない。地域創生・国際交流会館も、5Fでみんなが料理を作ったり、3Dプリンターを使って作品を創ることができるなど、様々な理想像が語られていたが、まだ実行に移されていないようで、学生にとって景色の一部となっているだけの状態は非常にもったいないと思う。</p>	<p><けやきホールについて> けやきホールは、徳島大学の教育、研究及び地域連携の進展に資するとともに、広く社会に向けた情報発信と地域住民との交流の場とすることが目的で、その使用範囲は①本学の主催する行事及び授業に使用する場合、②本学が共催する地域住民を対象とする行事に使用する場合、③その他、以上の使用を妨げない限度において、適当と認める場合と規定されています。 そのため、学生の皆さんに向けては積極的な周知活動は行っておりません。学生の皆さんが、これらのような大学主体の行事を計画される場合は、講義室等の使用許可申請に準じて所属の学務係や指導教員にご相談ください。</p> <p><地域創生・国際交流会館5Fについて> 地域創生・国際交流会館5Fの利用に関して、例えば3Dプリンタを使う学生向けプログラムは毎週月曜日の夕方に開催しており、学生ボランティアが運営してくれています。そのことについてはポスターやホームページ、また大学祭の時のスペシャルイベントで参加を呼びかけています。しかし、理工学部から数名の参加が時々あるだけです。総合科学部からの参加はありません。5Fでは、その他、学生が参加できるワークショップやシンポジウムもかなりの回数を実施しています。広報費用をかけて案内していますが、徳大生の参加が無い場合が多くあります。これまでに無い新しい学びの機会や「場」を作りたいと考えており、来年度はプログラムの種類や回数はさらに増えると思います。学生が参加しやすい工夫・改善することは当然行いますが、学生の皆さんも色々なことに興味を持って積極的に参加されるようお願いいたします</p>

平成28年度学生と学長との懇談会
 本学に対する学部学生からの意見・質問への回答

3 その他		回答
3 歯学部	歯学棟にもコピー機を設置してほしい。	歯学部棟に生協が設置していたコピー機（学生が有料で利用できる）が、平成26年3月に撤去されて以降、学生からの設置要望については、毎年の学部長等と学生総代との懇談会ででも説明しているように、引き続き歯学部で検討していくが、当面の間は生協が蔵本地区3カ所に5台設置してある有料コピー機を活用願いたい。
4 歯学部	徳島大学の受験生向けパンフレットの歯学部歯学科のところだけ、3年間紹介されている人がずっと同じ。（写真、文章も同じで使い回し）他の学部・学科は変わっているのにも関わらず、歯学科だけ変更なし。高2、高3と2年連続でパンフレットを入手した受験生は不信感を抱くのではないか。	大学案内の学部・学科紹介記事は、進学希望者の将来像となる先輩が冊子記事に連動して、動画で学科紹介を行うことから、より親しみやすくすることを目的としております。 一方、動画作成には高額な予算が必要であり、限られた予算の範囲内において、同一記事を3年程度利用することを原則とさせていただいております。 なお、記事更新は、学科新設・改組などの要件は加わりますが、計画的に3年程度でクールしており、2018年版は、歯学部の記事更新を予定しており、既に、原稿、動画準備は完了しております。
5 工学部	統計解析の仕方、マクロの組み方、検定の方法など研究分析に必要なことを教えてくれるかけ込み寺、もしくはそれが得意ではない学生、得意な学生とのマッチングシステムが必要。	各教員はオフィスアワー（教員が学生の質問や相談を受けられるように研究室などにいる時間）を設けています。こちらも利用して専門の教員に質問してみてください。
6 生物資源産業学部	起業体験実習の授業が理想論を言っているだけにすぎないので、大半の学生が授業を聞くような状態になく惰性で授業を受けている。学生からの不満が異常なほど多い。	学生による「授業改善のためのアンケート」を実施し、寄せられた意見を担当教員に伝え、授業内容の改善を図ります。